

2021年度 事業計画

I 施設の設置・運営事業《公益目的事業(WAC事業)、その他事業1・2》

- 公益目的事業：WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営
- その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者(全利用者の3割相当)に該当する部分
- その他事業2：介護老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター(奈良事業のみ)

*WAC(ウェルディングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

(1) 奈良事業

(厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

① 疾病予防運動センター (WAC第1号施設)

【ニッセイ・アーク西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・新型コロナウイルスの影響で退会・休会者が多く出たため、地域会員数増加に向けたチラシのポスティングや地域情報誌への広告掲載を活用し、広報・宣伝活動を更に強化していきます。
- ・2020年度の収支状況を踏まえ、運営の見直し(営業時間の短縮・労務費の削減等)を図ります。
- ・引き続きご利用者の声の集約や修繕の即時対応を実施し、顧客満足度の向上を図ります。

② 診療所 (WAC第1号施設付置診療所)

【ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・集患対策及び介護保険扱いのサービスとして、高齢化が進む河合町を中心とする近隣の住民を対象に、送迎付きの短時間通所リハビリを開始します。
- ・入院は、積極的にレスパイト入院を受入れ、高いベッド稼働率を維持していきます。
- ・外来は、有料老人ホーム一般居室の通院困難者に対して、新しい診療体制の構築を目指します。また、健診は各種キャンペーンを立案し、3密を回避しながら安心して受診していただける環境を提供していきます。

③ 高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設)

【ふれあいプラザ】

○地域社会との連携・交流

- ・感染予防を最優先に考え、安全対策を十分行った上で講座・イベントの再開を目指します。
- ・音楽イベントはクラシック音楽をメインとすることは継続しつつ、他のジャンルや地域の演奏家の出演などでバリエーションを拡大し、より多くの方にお楽しみいただけるイベント運営に努めます。
- ・隣地(外出)企画は、昼食付企画の要望が多くあったものの、飛沫感染を避けるべく「食事無し」に、また感染拡大地域を避けて実施していきます。

④ 在宅介護サービスセンター (WAC第3号施設) 【ニッセイせいらい在宅介護サービスセンター ベル西大和店】

○地域社会との連携・交流

- ・地域包括ケア会議、河合町ヘルパー連絡会などの各種会議へ継続して参加し、各事業所との連携を深めご利用者増に努めます。また、サービス利用の紹介にも積極的に取り組み、安定した経営を目指します。
- ・登録ヘルパーの高齢化に伴い、新たな募集活動を講じ、新規採用に取り組みます。

⑤ 有料老人ホーム (WAC第4号施設)

【奈良ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・2020年4月から近隣の河合第三小学校が第二小学校へ統合となり、当園正面玄関前の歩道が児童の通学路になったことで、8月からご入居者・職員で下校見守りボランティアを実施しており、2021年度も継続します。また、河合町の「子供110番の家」にも登録し、地域貢献活動を積極的に推進します。
- ・地域との災害時における防災協定の締結により更に協力体制を強化し、防災訓練や各種活動にも積極的に参画します。
- ・「エデン版地域包括ケアシステム」においては、いきいき生活室を中心とし、各職場でもコンセプトの理解を深め、ご入居者の生きがい作りや助け合いの精神を育てていけるよう取り組みます。また、地域住民との交流を更に深めていき、生涯学習充実事業への講師派遣など、高齢者や子供たちが安心して暮らせるまちづくりを継続して推進します。
- 認知症になっても安心して生活できる「高齢者と認知症にやさしいエデンづくり」を更に深めるために、認知症ケア(パーソン・センタード・ケア)と認知症理解への教育を継続します。
- 働き方改革への取組の継続と、労働人口の減少など社会的情勢を踏まえ、ICT化・障がい者等の多様な働き方に対応した労働環境の整備など、具体的な対応を推進します。
- 新型コロナウイルス等の感染症予防、防災・防犯対策の徹底と、コンプライアンス遵守を意識した運営を行います。
- 業務基幹システムであるETS(エデン・トータル・システム)2020を、ケアの質の向上やリスク事象の発生軽減に活用し、より安全・安心なサービスの提供に繋がります。
- 開園30周年記念(30th Anniversary:2022.4.7)に向けたプロジェクトに取り組み、よりご入居者に喜んでいただける記念行事が開催できるよう企画、立案を進めていきます。

⑥ 介護老人保健施設 (WAC併設施設)

【奈良ベテルホーム】

○地域社会との連携・交流

- ・感染予防対策を講じながら、在宅強化型介護老人保健施設として、在宅復帰を希望される方への個別サービスの提供と、在宅復帰後の居宅支援サービスを継続して実施します。
- ・多くの方々に集まってもらう形態が難しい環境下でも、河合町や社会福祉協議会と連携を取りながら、「家族介護教室」(地域の方対象)といった新たな開催の仕組み作りを検討し、実施します。
- 渉外活動を継続し、空床情報の定期的な提供、電話や訪問を繰り返し行い、ご利用者を幅広く受け入れることで、安定した経営に努めます。
- ご利用者に安心して利用いただくため、新型コロナウイルスの感染防止を職員全員で意識し、陽性者が発生した場合でも迅速な対応ができるよう、感染想定訓練を毎月実施して感染対策に努めます。

⑦訪問看護ステーション（WAC併設施設）

【 訪問看護ステーション西大和 】

○地域社会との連携・交流

- ・地域合同会議、研修会に参加し、近隣事業所や医療機関との連携を強化します。在宅防災マニュアルを作成するためのプロジェクトを推進し、地域住民に安心を与えられるよう取り組みます。

⑧ケアプランセンター（WAC併設施設）

【 ニッセイせいれいケアプランセンター西大和 】

○地域社会との連携・交流

- ・西和地域7町における入退院連携マニュアル、地域包括ケアシステムの活用を行いながら、地域行政や他事業所、医療機関との連携を強化します。
- ・ケアマネジメントの質の向上を目指しながら、信頼され選ばれる事業所になるよう運営していきます。

②松戸事業

（厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付）

①疾病予防運動センター（WAC第1号施設）

【 ニッセイセントラルフィットネスクラブ 松戸 】

○地域社会との連携・交流

- ・クラブ内イベントを実施し、クラブ内での仲間作りをサポートしていきます。
- ・2020年度の収支状況を踏まえ、運営の見直し（労務費の削減等）を図ります。
- ・地域イベントへの参加は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、感染対策を十分に行なったうえで活動を継続していきます。

②診療所（WAC第1号施設付置診療所）

【 松戸ニッセイ聖隷クリニック 】

○地域社会との連携・交流

- ・各課との連携を強化し、各職種の特性を活かしたチーム医療を実践してご入居者、ご利用者へ安心と信頼を提供します。
- ・感染予防、感染拡大防止を徹底して外部患者の受け入れを行ない、地域への貢献、地域医療連携の充実に努めます。

③高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設）

【 ニッセイ松戸アカデミー 】

○地域社会との連携・交流

- ・これまで蓄積してきたノウハウを地域にお住いの方にも還元できるよう、介護予防に重点を置いたイベント企画の継続と、気軽に取り組める内容の教室を新規に開催していきます。
- ・ご自宅からでも参加できるように、オンラインイベント（リアルタイム配信/アーカイブ配信）としてコンサートや講演会を定期的に配信していきます。
- ・イベントに合わせて地域の障がい者施設や福祉施設の出張販売場所として積極的に活用してもらうことにより、地域支援・交流に貢献します。

④在宅介護サービスセンター（WAC第3号施設）

【 ニッセイエデンヘルプステーション 】

○地域社会との連携・交流

- ・介護支援専門員を中心として、関連機関との連携を密にし、感染防止対策のためのサービス体制作り及び強化に取り組みます。
- ・近隣自治会や県・市等が主催する意見交換会やサービス提供事業所向け説明会・専門研修等に積極的に参加し、交流・情報収集・スキルアップに努め、地域のご利用者の在宅生活を支援します。

⑤有料老人ホーム（WAC第4号施設）

【 松戸ニッセイエデンの園 】

○地域社会との連携・交流

- ・新型コロナウイルスの感染が拡大する中、隣接する東松戸病院や松戸愛光園とも連携を図りながら、物資や人材の相互支援体制を構築し、地域での感染拡大防止に努めます。
 - ・昨年度より取り組んでいるフードバンクの活動を継続し、食品ロス削減に繋げるとともに、食料の支援などを通じてSDGsを意識した社会への貢献活動を行います。また、障がい者雇用、外国人労働者雇用を継続し、社会的責任への取り組みの充実に努めます。
 - ・松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべてのご入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。
- コンプライアンスの徹底と、ご入居者を守るための新型コロナウイルス等の感染予防や感染拡大防止対策、防犯対策の徹底を継続します。
- 入居検討時から最期までその人らしいライフスタイルを尊重したシームレスなサービス体制を提供します。
- 2018年度の容積率基準の緩和により敷地内増築が可能となったため、介護居室の増築プロジェクト（37戸→43戸の6戸増）を進め、2022年度の竣工・運用開始を目指します。
- ご入居者によるエデン内ボランティア活動（エデンサポーター）を継続し、一般居室と介護居室のご入居者同士の交流機会増加と生きがい増進を目指します。
- 新しい生活様式を意識した入居者参画型の企画・行事を推進します。

Ⅱ 調査研究事業 《 公益目的事業 》

(1) WAC事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

- WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。
 - ・松戸の「あんしん電話」等を利用した高齢者見守り活動の状況等を確認する一方で、新たな調査研究のテーマ発掘に向けた取組についても推進していきます。
 - ・2019年度よりセントラルスポーツと河合町の協力を得て行っている「歩行能力向上」をテーマとする調査研究を継続し、当初の目的である「介護予防の普及に貢献する集団プログラムの開発」に、「オンライン参加の有効性検証」というテーマも加え、新たな形でのプログラム開発に努めます。

(2) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへの参加を行います。
- 11月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続します。

Ⅲ 奨学金助成事業 《 公益目的事業 》

- 介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から、介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。

- 「介護人材不足」解決の一助となるよう、日本語学校に通う外国人留学生で、かつ介護福祉士を目指す学生に対して、2020年度より「外国人留学生就学支援金制度」を開始し、介護福祉士養成施設への入学金相当額をサポートしています。今後も環境変化に注視しつつ、継続的に取り組みます。